

(様式2)

単独運転防止方式の概要

メーカー名	パナソニック電工電路(株)	同様の方式を採用している形名
形名	PV-PC1K	

項目	受動的方式	能動的方式
1. 方式名称	電圧位相跳躍検出方式	周波数シフト方式
2. 基本原理	系統停電時、パワーコンディショナ発電出力と負荷の不均衡による電圧位相の急変を検出する	系統電圧周波数を1周期毎に検出し、それに微小なシフト量を加えて次周期の出力周波数として制御することにより、単独運転時に現れる周波数変化を検出する
3. 回路方式 または 制御フロー	系統電圧波形において、n周期毎の1周期平均値を計測し、現在と直前の1周期平均値を比較して、整定値以上の電圧位相の跳躍が発生した場合に、パワーコンディショナの出力をゲートブロックにより停止させる。	n周期前までの電圧周波数を計測し、基本周波数(50Hz/60Hz)から最も離れていた周波数に基本周波数との差に応じたシフト量を加算して、さらにシフト量を増大させる方向に任意の周波数を加算し、その周波数を次周期の出力周波数とする。 系統停電時には、シフト量を含んだパワーコンディショナの出力により徐々に周波数が変化していき、整定値を一定時間以上超えた場合に単独運転として判断し、パワーコンディショナを停止させる。
4. 整定範囲	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10度	検出レベル: ±1Hz(固定)
	出荷時整定値 5度	出荷時整定値 ±1Hz